

取扱数量の傾向を踏まえた施設規模縮減の可能性検討

n 検討の位置づけ

- 大阪府中央卸売市場の取扱数量は減少傾向にあるため、再整備基本計画策定にあたっては、将来の取扱数量見込みを踏まえた適正な施設規模の設定が求められる。
- 過去の取扱数量の傾向から、再整備後（概ね10年後）の取扱数量を統計的に推計するとともに、農林水産省の卸売市場施設規模算定基準に基づき適正な施設規模を試算することで、**再整備後の必要面積を検討するうえでの参考**とする。

n 将来取扱数量の推計結果

- 過去20年の傾向をもとにした、将来の取扱数量の推計値（令和14年度時点）は、下グラフのとおりである。
- 市場計…186,244t（令和4年比：85.3%）、青果…164,251t（同比：87.7%）、水産…21,994t（同比：71.2%）**

《将来取扱数量の推計結果》

